

慶應義塾大学

大学院健康マネジメント研究科

看護学専攻

公衆衛生・スポーツ健康科学専攻

Keio University

Graduate School of Health Management

Major in Nursing

Major in Public Health, Sport and Health Sciences

2025

～研究科委員長からのメッセージ～

「健康(ヘルス)」を標榜する研究科であなたは何を学ぶか？

戦後間ものなくの1949年(昭和24年)、日本人の平均寿命は男性47歳、女性50歳でした。その後、公衆衛生や医療を取り巻く多くの分野の技術進歩や経験の蓄積により、わが国は世界をリードする長寿国となりました。しかし、たどり着いた先を見渡してみると、残念ながらそこは桃源郷にあらず、老老介護や独居老人、認知症、フレイル、少子高齢化と人口減少など、様々な社会問題が表在化しています。介護、福祉、予防、健康寿命と平均寿命のギャップ等々、これらの課題を解決するための看護・ケア、医療・健康施策、公衆衛生学、スポーツ科学等々を、大学院という一つ屋根の下で有機的に学ぶという理念のもとに健康マネジメント研究科は運営されています。健康(ヘルス)に対する世の中の関心に応じ、医療系学部出身者はもとより、出身学部の枠を超えて学びの場を提供している点は本研究科の大きな特徴と言えます。

入学生の多様な背景を考慮し、知識の差分を充足するための導入科目の設置や、多くの授業を大学病院に隣接する信濃町キャンパスで開講するなど、利便性や学習効果に配慮した対応もさらに深化しました。一方、大学院はカルチャースクールではありません。受動的学びに終始するのではなく、各人が抱く疑問や課題を研究や社会実装に昇華させることが要求されます。総合大学である慶應義塾の強みを生かし、様々な専門分野の指導教員が皆さんの学びや研究をサポートします。特にデータサイエンスの重要性には早くから注目し、多様な分析手法科目が用意されているので、領域を問わず、データに基づく科学的な意思決定のプロセスを修得することができます。また、より高い専門性を追求する学生の要望に応えるために、専門看護師プログラムや他研究科と連携したプログラムも用意されています。

予定調和が崩壊した不確実性の時代において、“多分大丈夫”といった楽観や、勘や経験、ましてや運に頼る判断はもはや通用しません。サステイナブルな社会を実現するためには、その時代ごとに変化する問題を解決するのに必要な多角的な知識と実践力が要求されます。カリキュラム・ポリシーに掲げた「学際的な教育」、「実務と研究の融合」、「実証的研究方法」は、多くの課題を抱えた困難な時代を乗り切るための強力な理論武装につながるはずです。慶應義塾の学部・研究科において、唯一「健康(ヘルス)」を標榜することの意義と責任を常に意識して、教員は皆さんを受け入れるための様々な準備をしています。志のある学生の入学を期待しています。



健康マネジメント研究科委員長
石田 浩之

研究科概要

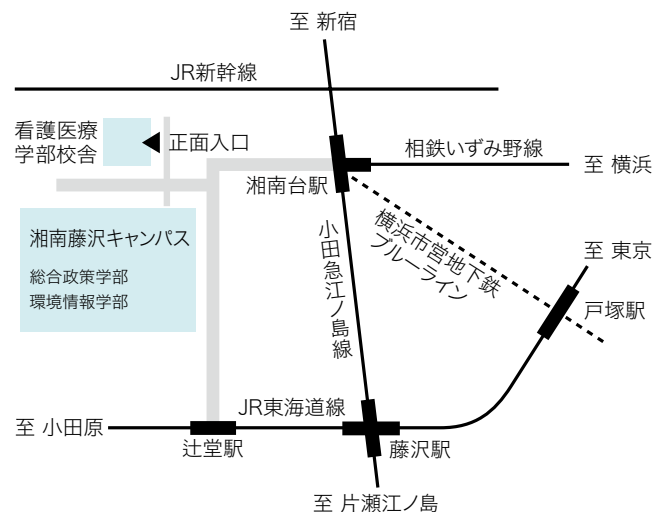
研究科名	大学院健康マネジメント研究科	
専攻名	看護学専攻、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻	
授与する学位	看護学専攻	修士(看護学)、博士(看護学)
	公衆衛生・ スポーツ健康科学専攻	修士(公衆衛生学)、博士(公衆衛生学) 修士(医療マネジメント学)、博士(医療マネジメント学) 修士(スポーツマネジメント学)、博士(スポーツマネジメント学)
修業年限	修士課程2年、後期博士課程3年	

Campus & Access

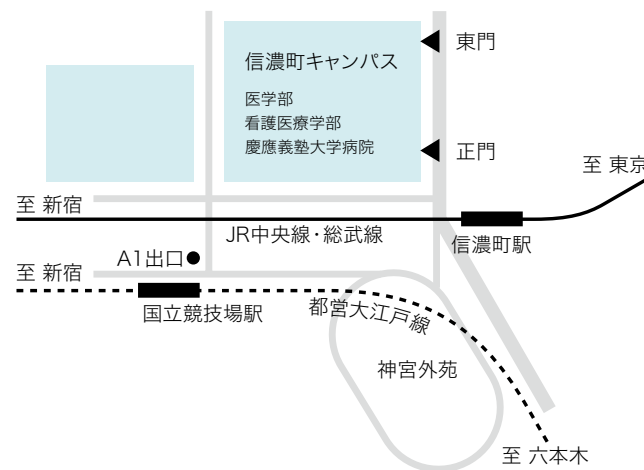
所属キャンパス

健康マネジメント研究科生の所属キャンパスは湘南藤沢キャンパス(SFC)ですが、研究科に設置される科目は、主に湘南藤沢キャンパス(SFC)と信濃町キャンパスで開講されます。また、一部の科目によっては日吉キャンパスや芝共立キャンパスでも開講されます。

■ 湘南藤沢キャンパス(SFC)



■ 信濃町キャンパス



〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411
湘南藤沢事務室看護医療学部担当
TEL 0466-49-6200

- 湘南台駅(小田急江ノ島線/相鉄いずみ野線/横浜市営地下鉄ブルーライン)西口よりバス[慶応大学]行き約15分
横浜～湘南台=約30～40分
- 辻堂駅(JR東海道線)北口よりバス[慶応大学]行き約25分
横浜～辻堂=約25分
- ✈ 羽田空港～上大岡～湘南台=約70～75分

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
信濃町キャンパス学生課(孝養舎)
TEL 03-5363-3662

- 信濃町駅(JR総武線)徒歩1分
新宿～信濃町=約6分
東京～四ツ谷～信濃町=約15分
- 国立競技場駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩5分
新宿～国立競技場=約4分
- ✈ 羽田空港～浜松町・大門～国立競技場=約45～55分

修士課程

■ディプロマ・ポリシー

本研究科は、保健・医療・福祉を取り巻く課題に対して、適切に分析・考察して解決することができる研究者ならびに実務家を養成することを目指しています。

修士課程の学生は、2年以上在学し(看護学専攻では本学看護医療学部との5年一貫教育制度あり、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻では早期修了制度あり)、各専攻・プログラムが定める修了要件を満たす授業科目を履修して30単位以上を修得し(看護学CNSプログラムは46単位以上)当該領域の基礎知識と分析方法を修得するとともに、専門領域の研究の動向を踏まえて設定した研究課題を科学的方法にて検証し、研究結果に基づいた考察をまとめ、その研究成果を論文発表会で発表し、修士論文または課題研究論文を完成させ、最終試験に合格することで、修士号が授与されます。

■カリキュラム・ポリシー

修士課程および後期博士課程では、共通して以下の3つを重視してカリキュラムが編成されています。

● 学際的教育の重視

多様な背景・専門の学生を受け入れている本研究科は、学生が互いの視点と言語を共有し、活発な議論を通じて切磋琢磨する、協働を通じて学ぶ環境を整えています。それゆえ、特定分野・領域の専門科目だけを履修するのではなく、様々な専門科目を履修することで視野を拡げ、社会の健康水準の向上に貢献できる基礎的能力を培うことを重視しています。

● 実務と研究の融合の重視

本研究科では、実務と研究を融合させた教育を重視しています。実践を通じて得られたデータを体系化することで理論を構築し、理論的枠組みを用いて現場の課題解決を図り、さらに現場からフィードバックされたデータをもとに既存理論を検証し修正する、実務と研究が相互に行き来する一連のプロセスを理解するための科目や機会が用意されています。

● 実証的研究方法の重視

保健・医療・福祉のいずれの領域においても、限られた資源を効率的に活用して効果的な成果をあげるためには、個人や集団を問わず、臨床的な合理性と経済的な合理性の両立が求められます。そのため、本研究科は、勘や経験に頼るのではなく、エビデンスに基づく合理的意思決定に必要とされる実証的な分析手法の修得を重視しています。

修士課程のカリキュラムは「導入科目」「分析手法科目」「専門科目」「インターンシップ関連科目」「特別研究科目」で構成され、専攻・プログラムにより必要単位数が定められています。

「導入科目」では、多様な背景・専門の学生が入学することから、本研究科での学習に必要な基礎知識を学びます。「分析手法科目」では、専門領域を問わず合理的意思決定に求められる、エビデンスの分析および解釈に関する基礎理論と具体的手法を修得します。「専門科目」では、専門領域における高度な知識と技能を修得します。「インターンシップ関連科目」では、実務と研究の融合を企図した実務教育が行われます。「特別研究科目」では、修士論文または課題研究論文を作成するための研究指導を受けます。これらは、多くの教員から段階的に教育を受ける仕組みになっています。

なお、看護学専攻には、看護学の専門性に対応した看護学各分野における実践家、研究者、教育者の育成を目指すための複数分野がおかれています。また、特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有することが認められた専門看護師(Certified Nurse Specialist : CNS)を養成するプログラムは、日本看護系大学協議会による専門看護師教育課程基準を満たす教育課程として組み立てられています。

公衆衛生・スポーツ健康科学専攻の公衆衛生学プログラムは、国際基準に則った基本5領域(生物統計学、疫学、医療政策・管理学、社会/行動科学、環境保健学)から構成されるコア科目が提供されています。

■主な学事日程

1年次	9月中旬	指導教員の決定
2年次	6月初旬	学位論文予定題目申請書の提出
	11月下旬	学位論文発表会
	1月中旬	学位審査論文の提出
	2月初旬	学位論文審査・最終試験(口頭試問)
	3月初旬	審査結果の発表

後期博士課程

■ディプロマ・ポリシー

後期博士課程の目標は、将来にわたり保健・医療・福祉の領域を先導する研究者および実務家として社会に貢献し得る人材を輩出することであり、具体的には以下の通りです。

1. 専門領域において明確な成果が得られていること
2. 自立して高度な研究を遂行する能力が示されていること

後期博士課程の学生は、正規の在籍期間中に修了要件となる特論科目および合同演習科目を履修し(合計10単位)、自立して高度な研究を行うための能力を身につけます。また、論文中間審査会において、年1回(在学期間中に計3回)研究計画を含めて研究成果について中間報告を行い、専門領域に新しく重要な知見を付与する高い水準の研究を進めているか審査されます。所定の科目を修得し、論文中間審査会において報告を行い、かつ査読付学術誌に掲載された研究成果を骨子とする学位請求論文を提出し、論文審査に合格することで、博士号が授与されます。

■カリキュラム・ポリシー

後期博士課程のカリキュラムは、修士課程における教育成果をもとに、各学生の研究計画書をふまえた研究指導・論文指導を中心に組まれています。学生が3年間の履修を修了すると同時に学位を取得できるように、「特論科目」と「合同演習科目」の履修を通じて、学位授与に至る各段階に応じた複数の教員の指導を受ける仕組みになっています。

なお、他研究科修士課程修了者や、本研究科修士課程修了後しばらくの期間実務に就いていて最新の理論や分析手法等に精通していない者は、修士課程設置科目を履修することで知識を補完することができます。

■論文中間審査会

原則年1回、在学期間中3回、「論文中間審査会」において、研究計画を含め中間報告を行い、必要な指導・助言を受けます。

■修了要件

後期博士課程に3年以上在学(休学期間を除く)し、所定単位(特論科目4単位、合同演習科目6単位以上の計10単位以上)を修得し、かつ研究上必要な指導を受けたうえで博士論文の審査および最終試験に合格することとなっています。英語のみでの修了も可能です。なお、外国の大学院への留学が許可された場合、留学期間のうち1年間に限り在学年数に算入することが可能です。また、相当する内容の授業科目の単位を修得した場合、その学期の「合同演習」としての単位認定が可能です。

看護学専攻長からのメッセージ

加速する少子化・超高齢化への対応は医療、社会における喫緊の課題です。本研究科看護学専攻には、多様な14の専門分野を備え、このうち4分野(老年看護、がん看護、精神看護、遺伝看護)には専門看護師プログラムも併設しています。人々のライフステージにおける妊娠・出産、成長・発達、病や障害、加齢に伴う様々な健康課題を捉え、安全・安心してその人らしく生きることを支えるために、各専門分野において看護を探究し、創出できる研究者や高度実践を担う専門看護師を育成しています。また、総合大学の特徴を生かして、他分野の専門家と有機的に連携、協働し、学際的かつ国際的な視点で人々の健康と看護の課題を捉え、自ら行動できる人材を育てています。

修士課程においては、共通科目と専門科目を体系的に配置したカリキュラムを備えています。これにより普遍的な知識基盤と深い洞察力、倫理性と豊かな感性を養い、専門性を高めることを目指します。さらに公衆衛生・スポーツ健康科学専攻との合同授業や総合大学の特性を生かした他研究科との連携、協働により、多様なチャレンジの機会が得られ、可能性を拡げることができます。2023年度より本研究科では学部-研究科5年一貫教育プログラムといった画期的な取り組みを開始しました。多様な学生と教員が自由闊達に学び、高め合うことを可能にします。さらに、修士課程では、海外研修(メイヨクリニック)を設けています。米国の高度実践看護師や教育者、研究者と交流し、高度実践看護や研究の能力を高める機会になると期待しています。

後期博士課程においては、各専門分野の指導教員により、看護の開拓者、先導者たる研究者としての幅広い学識や普遍的な知識を探究する姿勢と能力を高め、先駆的で国際的な研究を遂行する力を養うよう継続的に指導しています。特に、海外より副指導教授を招聘し、研究法に関するカリキュラムおよび海外留学プログラムといったグローバルな学修環境を整えています。

修士課程、後期博士課程のいずれにおいても、個々の研究課題に関して、粘り強く実証的に真理を解明し、問題を解決していく「実学の精神」を基盤に研究者、教育者あるいは卓越した高度実践者として、看護・医療の発展に寄与していくことを目指しています。皆様と共に次世代を見据えた看護・医療を探究できることを楽しみにしています。



健康マネジメント研究科
看護学専攻長

矢ヶ崎 香

研究科委員(看護学専攻)

氏名	職位	専門
新井 康通	教授	老年医学、疫学、百寿者研究
大坂和可子	准教授	がん看護学、成人看護学、緩和ケア、看護情報学
小池 智子	准教授	看護管理・看護政策
杉山 大典	教授	疫学、臨床検査医学、生物統計学
鈴木 美穂	教授	基礎看護学、がん看護
添田英津子	准教授	小児看護学、看護教育学、移植看護学
田口 敦子	教授	公衆衛生看護学・地域看護学
村上 好恵	教授	遺伝看護
辻 恵子	准教授	母性看護・助産学、遺伝看護学
富崎 悦子	専任講師	小児看護学、小児保健
永田 智子	教授	在宅看護学
野末 聖香	教授	精神看護学、リエゾン精神看護学
深堀 浩樹	教授	老年看護学、家族看護学、看護管理学
福井 里佳	准教授	基礎看護学、看護教育学
福田 紀子	准教授	精神看護学、リエゾン精神看護学
藤井千枝子	教授	先端看護学、看護技術、看護情報学、環境生態学
藤屋 リカ	准教授	国際保健看護学
細坂 泰子	教授	母性看護
堀口 崇	教授	脳神経外科学、脳疾患の予防と疫学、医療安全
増田 真也	教授	心理学、心理測定法
宮川 祥子	准教授	健康情報学、災害情報学
矢ヶ崎 香	教授	がん看護学、成人看護学、緩和ケア

■ 修了要件

2年以上在学し(休学期間を除く)、以下の単位を含めた30単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格すること。

導入科目	2単位以上
分析手法科目	6単位以上
専門科目	10単位以上
特別研究科目	4単位

■ 修了生の進路

病院をはじめとした施設、地域における高度看護実践者および管理職、大学等教育・研究機関における教育・研究職が主たる進路となります。

専門看護師(Certified Nurse Specialist : CNS)プログラム

[概要]

日本看護系大学協議会による専門看護師教育課程基準を満たす教育課程として組み立てられたプログラムです。修士論文に代わり課題研究論文(CNS実習)を作成します。学生は、実習施設と担当教員の緊密な連携のもと実習指導を受けたうえで、実践的研究課題を取り上げ、講義・演習科目で培われた理論知のうえに立ち、CNS実習における実践知をふまえた総体的表現としての研究に取り組みます。

[対象分野]

老年看護分野、がん看護分野、精神看護分野、遺伝看護分野

[修了要件]

2年以上在籍し(休学期間を除く)、所定の授業科目を46単位以上修得し、課題研究論文の審査および最終試験に合格すること。(導入科目2単位、分析手法科目2単位、専門科目38単位、特別研究科目4単位)

海外での研修・留学

[海外研修(メイヨクリニック)]

CNSプログラムの学生を対象に、専門看護実習の一部として、マグネットホスピタルとして名高いメイヨクリニック(米国ミネソタ州ロチェスター)において行われる研修です。特にCNSプログラムの学生に向けて、米国における高度実践看護師(Advanced Practice Nurse : APN)であるClinical Nurse Specialist(CNS)およびNurse Practitioner(NP)の役割・機能の実際について学ぶことを目的にメイヨクリニックで研修する機会が設けられています。CNSプログラムの学生以外の看護学専攻の学生も希望する場合はこの研修に参加できます。

[海外短期留学]

看護学専攻後期博士課程生を対象に、秋学期に米国のワシントン大学とイリノイ大学シカゴ校において短期留学できる機会を提供しています。留学を希望する場合は、入学後に資金計画、留学時期や期間、内容について教員と相談のうえで準備する必要があります。

5年一貫教育プログラム

看護医療学部4年次に、健康マネジメント研究科(看護学専攻)修士課程の一部の科目を履修し、卒業後入学することにより、学士(看護学)と修士(看護学)の2つの学位を5年間で取得できるプログラムです。

■ 専門分野の構成

領域	分野	担当
ライフステージケア領域	母性看護分野	細坂泰子、辻恵子
	小児看護分野	添田英津子、冨崎悦子
	老年看護分野*	深堀浩樹、新井康通
クリニカルケア領域	基礎看護分野	鈴木美穂、福井里佳
	成人看護分野	矢ヶ崎香、大坂和可子、堀口崇
	精神看護分野*	野末聖香、福田紀子、増田真也
	がん看護分野*	矢ヶ崎香
	遺伝看護分野*	村上好恵
	先端看護分野	藤井千枝子、宮川祥子
コミュニティケア領域	在宅看護分野	永田智子
	公衆衛生看護分野	田口敦子、杉山大典
	国際保健看護分野	藤屋リカ
システムケア領域	看護管理・政策分野	小池智子
	看護学教育分野	福井里佳

※ CNSプログラム併設

■ 科目一覧(修士課程)

導入科目			
臨床入門	社会保障論	ヘルスケア倫理学	健康マネジメント概論
高齢社会デザイン論	経営戦略論		
大学院共通科目			
リサーチ・スキルズ	データサイエンス概論	データサイエンス超入門(数値データ)	総合知演習(環境サステナビリティ)
分析手法科目			
基礎疫学	サービスデータサイエンス	クオリティマネジメント	ヘルスアウトカム評価論
基礎生物統計学Ⅰ	基礎生物統計学Ⅱ	臨床試験方法論	ヘルス情報管理論
多変量因果解析	応用生物統計学	疫学研究の統計的方法	質的研究法
大学院共通科目			
データサイエンス超入門(テキストデータ)	データサイエンス超入門(画像データ)	データサイエンス実践	
専門科目			
母性看護学	母性看護学方法論Ⅰ	母性看護学方法論Ⅱ	母性看護学演習Ⅰ
母性看護学演習Ⅱ	小児看護学	小児看護学方法論Ⅰ	小児看護学方法論Ⅱ
小児看護学演習Ⅰ	小児看護学演習Ⅱ	老年看護論	高齢者健康生活評価法
老年期疾患治療論	高齢者・家族援助論	老年サポートシステム・制度論	老年看護実践演習
認知症高齢者看護演習	老年専門看護実習	基礎看護学	基礎看護技術方法論Ⅰ
基礎看護技術方法論Ⅱ	基礎看護学演習Ⅰ	基礎看護学演習Ⅱ	がん病態生理学
がん看護論	がん看護援助論	がん治療看護論	がん遺伝看護論
がん薬物療法看護論	緩和ケア演習	がん専門看護実習	成人看護学
成人看護学方法論Ⅰ	成人看護学方法論Ⅱ	成人看護学演習Ⅰ	成人看護学演習Ⅱ
精神看護論	精神の健康生活評価法	治療的精神看護介入法	リエゾン精神看護論
精神保健医療福祉制度論	精神科治療技法	精神看護介入演習	精神専門看護実習
遺伝看護論	遺伝リスク評価法	臨床遺伝特論	遺伝看護対象論
遺伝医療・社会制度論	遺伝看護援助論	遺伝看護展開論	遺伝専門看護実習
先端看護学概論	先端看護学方法論Ⅰ a,b	先端看護学方法論Ⅱ	先端看護学演習Ⅰ a,b
先端看護学演習Ⅱ	在宅看護論	在宅看護方法論Ⅰ	在宅看護方法論Ⅱ
在宅看護学演習Ⅰ	在宅看護学演習Ⅱ	公衆衛生看護学	公衆衛生看護活動方法論Ⅰ
公衆衛生看護活動方法論Ⅱ	公衆衛生看護活動計画・評価論Ⅰ	公衆衛生看護活動計画・評価論Ⅱ	看護管理・政策学
看護管理・政策学方法論Ⅰ	看護管理・政策学方法論Ⅱ	看護管理・政策学演習Ⅰ	看護管理・政策学演習Ⅱ
看護学教育論	看護学教育方法Ⅰ	看護学教育方法Ⅱ	看護学教育演習Ⅰ
看護学教育演習Ⅱ	国際保健看護論	国際保健看護方法論Ⅰ	国際保健看護方法論Ⅱ
国際保健看護演習Ⅰ	国際保健看護演習Ⅱ	看護理論	看護教育論
コンサルテーション論	看護研究	看護情報学	看護倫理
看護政策論	看護管理論	フィジカルアセスメント	臨床病態学
臨床薬理学			
特別研究科目			
特別研究			

※大学院共通科目

研究者または高度専門職業人等に必要な知識やスキルを修得するため、研究科横断的に設置された科目。大学院共通科目の単位は、修了要件に定める単位とすることができる。

がん看護に寄与する 研究・教育能力の向上を目指す

健康マネジメント研究科
後期博士課程3年(がん看護分野)

杉本 美希

健康マネジメント研究科のCNSプログラムで学んだ修士課程は、臨床で看護師として働いていた私の視野を広げ、看護の力を改めて認識する機会となりました。CNS実習では豊富な経験をもつがん看護専門看護師から直接指導いただき、複雑な問題を持つがん患者さんを理解して看護を実践する能力を学び、科学的根拠に基づく実践に必要な研究能力は課題研究論文の作成を通して習得しました。

修士課程修了後、教育や研究に携わる中で、がん患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう更に研究を深めていきたいと考え、後期博士課程に入学しました。看護学特論Iで米国のArdith Z. Doorenbos先生から研究への取り組み方や研究を継続するための姿勢を学び、自身の研究に関して英語で説明、議論しながら研究計画を前進できたことは貴重な経験でした。

研究を継続することは簡単ではありませんが、がん看護に寄与できる研究・教育を行えるよう日々の努力を積み重ねていきたいと思っています。



生涯にわたり遺伝性疾患と向き合う 患者や家族を支える遺伝看護を探求する

健康マネジメント研究科
2024年3月修了(遺伝看護分野)

蜂屋 久美子

「遺伝性疾患だとわかった時の衝撃はあったけど、その後の生活や治療の方がもっと大変で孤独だった」と話してくれた方がいます。認定遺伝カウンセラー[®]資格をもつ看護師として、遺伝カウンセリングの現場にいましたが、患者の求める支援は、日常の診療や生活の中にあると気づかされた言葉でした。日常診療の中で、身近にいる看護師がもっと関心をもって寄り添ってくれたら、孤独感に苛まれず、生涯にわたる遺伝性疾患に向き合えるのではないだろうか。患者や家族を支えるために、遺伝診療をよりよくしていくための研究能力を身につけたい、それが進学のかっかけでした。大学院に進学して得られたことは、専門分野に特化せずに、幅広い視野から俯瞰してみることでした。俯瞰することで、専門分野における現状と課題を理解できるようになってきました。今後は研究を通じた課題解決から、遺伝性疾患の患者や家族によりよい遺伝看護を届けられるように探求したいと思っています。



公衆衛生・スポーツ健康科学専攻長からのメッセージ

Covid-19の感染拡大は、世界の人々に対して、感染症対策の重要性に係る意識を目覚めさせるとともに、パブリックヘルスに係る専門活動の意義を再認識させました。そして、わが国では、ヘルスケア分野に対して、ワクチン接種の優先順位の決定に係る課題や、限りある医療資源の配分に係る課題、医療提供体制や施設管理に係る課題など、数多くの課題を突き付けました。その中には、従来の知の枠組みでは解決が難しい課題も含まれています。

近年では、世界中でELSI、即ちEthical Legal and Social Issues(倫理的法的社会的課題)という言葉が頻繁に用いられるようになり、パブリックヘルスに係る課題についても自然科学の見地とともに人文・社会科学の見地からの検討等が重要であることが以前にも増して示されるようになってきました。

また、パブリックヘルスに係る活動の目的の一つは、人々のウェルビーイングの追求です。そして、スポーツに係る活動はその主翼の一つを担っています。スポーツは、言うに及ばず、人々の心身の健康増進や豊かな地域社会の構築に寄与します。加えて、心身の「限界」を突破できる可能性を人々に信じさせる力を秘めていると言えます。また、アスリートやスポーツ団体の活動は、上記のようなスポーツの価値に対する人々の理解を深化させると言えます。

本専攻は、上記のようなパブリックヘルスに係る活動の特性を踏まえた教授陣を擁し、近年、分野を問わず注目されるようになっているデータサイエンスに係る教育も重視するなど、12頁で示す科目を設置し、学生教育を進めています。そして、本専攻がいわゆる独立大学院の性格を持ち特定の学部を設置していないことも相まって、本専攻には様々な学部の出身者が学生として在籍しています。すなわち、教員・学生間での議論、学生間での議論の双方において、総合的学際的に活発な議論が可能となる環境が整っています。

大学院は、ノウハウのみを学ぶ場ではなく、課題解決に資する哲学を学ぶ場でもあります。先人による知的成果を丁寧に紐解き、課題解決に向けた努力を惜しまない、そうした旺盛で意欲的な学生をお待ちしています。



健康マネジメント研究科
公衆衛生・スポーツ健康科学専攻長

前田 正一

研究科委員(公衆衛生・スポーツ健康科学専攻)

氏名	職位	担当学位プログラム*			専門
		公	医	ス	
秋山 美紀	教授	○			ヘルスコミュニケーション、コミュニティヘルス
新井 康通	教授	○	○		老年医学、疫学、百寿者研究
石田 浩之	教授			○	スポーツ医学、運動生理学、老年学
大澤 祐介	准教授	○		○	スポーツ科学、老年疫学、運動疫学
岡村 智教	教授	○			循環器疾患予防、健康教育、地域保健
小熊 祐子	准教授	○		○	スポーツ医学、運動疫学、健康行動科学
河井 啓希	教授		○		医療経済
権文 善一	教授		○		公共政策、社会保障
後藤 励	教授	○			医療経済学、医療技術評価
佐藤 和毅	教授	○		○	スポーツ医学・整形外科(とくに手・肘の外科)および臨床疫学
佐藤 泰憲	准教授	○			生物統計学、バイオインフォマティクス、臨床試験学
佐野 毅彦	准教授			○	スポーツビジネス
杉山 大典	教授	○			疫学、臨床検査医学、生物統計学
武林 亨	教授	○			疫学・予防医学、産業保健・環境保健
橋本 健史	教授			○	スポーツ医学、バイオメカニクス
藤屋 リカ	准教授	○			国際保健看護学
堀口 崇	教授	○	○		脳卒中の予防・治療・疫学・リハビリテーション、神経外傷、医療安全
堀田 聡子	教授	○	○		ケア人材政策、人的資源管理、地域包括ケア
前田 正一	教授	○	○		医事法、医療倫理、医療安全管理
宮田 裕章	教授	○	○		ヘルステータサイエンス、医療の質、医療政策
山内 慶太	教授	○	○		医療マネジメント、精神保健
山本 涉	教授	○	○		統計学、品質管理、信頼性工学

*公：公衆衛生学、医：医療マネジメント学、ス：スポーツマネジメント学

■ 修了要件

2年以上在学し(休学期間を除く)、以下の単位を含めた30単位以上を修得し、修士論文または課題研究論文(インターンシップ)の審査および最終試験に合格すること。

導入科目	2単位以上
分析手法科目	6単位以上
専門科目およびインターンシップ関連科目	10単位以上(インターンシップ関連科目2単位以上含む)
特別研究科目	4単位

早期修了制度

修士(公衆衛生学、医療マネジメント学)に限り、保健・医療・福祉の分野で一定の専門性と実務経験を有する者を対象に、早期修了制度を用いて在学1年での学位取得が可能です。なお、修士(公衆衛生学)関連の科目は、信濃町キャンパスで開講されます。

MBA-MPHプログラム

本研究科と本塾経営管理研究科との間で、公衆衛生とビジネスの双方に通じた人材を育成することを目的としてつくられたプログラムです。十分な実務経験のある者を対象とし、経営管理研究科在籍時に本研究科の科目を上限10単位まで履修できる制度等の活用により、計3年間で修士(公衆衛生学)と修士(経営学)が授与されます。いずれの研究科からも開始できます。

ケースとデータに基づく病院経営人材育成プログラム

本プログラムは、ケース討議を通じ、厳しさが増す経営環境において、創発性に富みかつ課題発見と解決力・実行力のある実践的病院経営人材の養成を目的としています。履修者(5科目計10単位)にはサーティフィケート(修了証)が授与されます。すべての学位プログラムで履修可能です。

医療経済評価人材育成プログラム(HTAプログラム)

本プログラムは、疫学・統計学関連および医療経済関連の授業を通じ、医療技術や医療制度を分析する人材育成を目的としています。履修者(11科目計20単位)にはサーティフィケート(修了証)が授与されます。すべての学位プログラムで履修可能です。

■ 修了生の進路

病院、介護施設、製薬会社、医療機器製造・流通会社、医療経営コンサルティング会社といった保健・医療・福祉関連団体や、大学、研究機関、シンクタンクといった研究教育機関、国、地方公共団体あるいは国際機関といった公的組織、スポーツ用品製造・流通会社、スポーツ団体(統括団体、クラブ等)、フィットネスサービス会社等のスポーツ関連団体に加え、広告会社、金融機関、保険会社、商社、経営コンサルティング会社、人材サービス会社、ITサービス会社等、卒業後の進路は多岐にわたります。

問題解決のために データサイエンスを活かす

健康マネジメント研究科
2017年3月修了(医療マネジメント学)

山田 知明

健康マネジメント研究科はデータサイエンスに注力している大学院の一つでもあります。私もその部分に魅力を感じて入学し、すぐに簡単な統計分析ができるようになり感激したと同時に、結果の解釈や実問題の解決につなげることは非常に難しいと感じました。単に解析方法を知るだけでは不十分で、問題の背景やデータの収集過程を理解していなければ実際の問題には応用できません。その点、健康マネジメント研究科では医学や統計学のみならず、法学や経済学、工学など様々な分野の専門家が在籍しており、さらに学術界でなくビジネス界で活躍する方々の講義・実習科目を受講することができます。また、インターンシップなど現場に出て学ぶ機会も多くあり、これらの経験を通して、当事者意識をもって物事を多角的に捉える思考が身に付きました。私は現在、大学で医療情報を活用した研究や、様々な研究に応用できる医療データ基盤の開発をしており、課題解決のためにデータを利用するという大学院で得た学びが活かされています。



健マネで出会った3人で コホートの研究支援業務をスタート

健康マネジメント研究科
2020年3月修了(公衆衛生学)
一般社団法人ハイジアコミュニケーション

新村 直子・菅原 かほる・池上 洋未

健康マネジメント研究科の公衆衛生学専攻で出会い、グループワークでは濃密な時間を共有した同期のMPH3人で大学院修了直後の2020年4月、一般社団法人を立ち上げました。薬剤師であり製薬企業でマーケティングを担当していた菅原さん、行政保健師としてキャリアを積んだ池上さん、そして、編集者・記者として医療健康領域を取材してきた新村です。3人とも各々仕事・研究を続けつつの“複業”ですが、健マネで知り合った先生のご縁で幸い初年度から神奈川県の未病改善事業に関する研究支援業務を受託でき、現在、3期連続で神奈川県みらい未病コホート研究の運営支援・情報発信を担っています。生活習慣病疫学で学んだ通り、多くのプロの丁寧な仕事の積み重ねで成り立つコホートの現場は私たちにとって貴重な一歩に。健康医療にかかわる人材の宝庫、健マネというプラットフォームと、大学院での学びを生かした活動をこれからも地道に進めていきたいです。



写真はオンライン会議中のメンバー。
ハイジアの公式サイト：<https://hygeia-com.org/>

■モデルカリキュラム

疫学・予防医学の専門家を目指すコース
データサイエンス・生物統計の専門家を目指すコース
ポピュレーションヘルス(地域、産業、精神保健等)の専門家を目指すコース
グローバルヘルスの専門家を目指すコース
ヘルスコミュニケーション、健康行動(身体活動、栄養)の専門家を目指すコース
ヘルスケア領域の政策やマネジメントの専門家を目指すコース
HTAサーティフィケートも取得するコース
病院経営イノベーションサーティフィケートも取得するコース
ヘルスケア領域の組織の経営管理の専門家を目指すコース(主に医マネ)
医療・介護サービス等と地域共生を目指すコース
健康・医療・介護サービス等のデータを活用したマネジメントの専門家を目指すコース
医療安全管理、臨床倫理の専門家を目指すコース
健康スポーツ医科学領域の専門家を目指すコース
スポーツビジネス領域の経営管理の専門家を目指すコース

各コースの詳細は以下のWebサイトにてご確認ください。
<https://keio.box.com/v/2023-gshm-model-curriculum>



■科目一覧(修士課程)

導入科目			
臨床入門	社会保障論	ヘルスケア倫理学	健康マネジメント概論
高齢社会デザイン論	経営戦略論		
大学院共通科目			
リサーチ・スキルズ	データサイエンス概論	データサイエンス超入門(数値データ)	総合知演習(環境サステナビリティ)
分析手法科目			
基礎疫学	サービスデータサイエンス	クオリティマネジメント	ヘルスアウトカム評価論
基礎生物統計学I	基礎生物統計学II	臨床試験方法論	ヘルス情報管理論
多変量因果解析	応用生物統計学	疫学研究の統計的方法	質的研究法
大学院共通科目			
データサイエンス超入門(テキストデータ)	データサイエンス超入門(画像データ)	データサイエンス実践	
専門科目			
医療政策・管理学	ヘルスサービス財務管理論	ヘルスサービス経営倫理学	医事法学
リスクマネジメント論	医療経営戦略論	パーソナルケアシステム論	医療経済学I
医療経済学II	ヘルスビジネス知的財産論	医療経済学	老年医学・高齢者スポーツ医学
ヘルスプロモーション	運動生理学	運動疫学	バイオメカニクス・動作解析
健康スポーツ栄養科学	健康スポーツ経営論	健康スポーツマーケティング論	環境・産業保健学
公衆衛生マネジメント	感染症疫学・サーベイランス	生活習慣病疫学	地域保健学
国際保健学	精神保健学	ヘルスコミュニケーション	健康行動科学
研究科が定める科目			
データ対話型病院経営論I	データ対話型病院経営論II	病院経営のためのケース教育習得法	病院経営I
病院経営II	ヘルスエコノミクス	レギュラトリーサイエンス	薬剤疫学・データサイエンス
医療制度とレギュラトリーサイエンス	QOLと費用の評価	費用対効果評価演習	
インターンシップ関連科目			
病院経営論	居宅サービス経営論	民間保険経営論	製薬産業論
医療機能評価論	健康都市デザイン論	健康スポーツ地域デザイン論	健康スポーツ産業論
公衆衛生実践	健康ビジネス開発論		
研究科が定める科目			
医療政策提言・アドボカシー	医療経済評価特論	経済評価モデル分析演習	応用経済評価モデル分析演習
コーチング			
特別研究科目			
特別研究			

※研究科が定める科目

学則に掲載されていないが、健康マネジメント研究科において適当と認めて設置した授業科目。研究科が定める科目の単位は、修了要件に定める単位とすることができる。

※大学院共通科目

研究者または高度専門職業人等に必要な知識やスキルを修得するため、研究科横断的に設置された科目。大学院共通科目の単位は、修了要件に定める単位とすることができる。

コーチング 対話を通じて個人の能力を引き出す人材育成の技法

健康マネジメント研究科
2007年3月修了(スポーツマネジメント専修)
株式会社HRBC取締役
講師(非常勤)「コーチング」

増田 元長

健康マネジメント研究科では、講師(非常勤)として「コーチング」を担当しています。コーチ(coach)の語源は「馬車」(人を乗せて目的地へ運ぶもの)であり、転じてスポーツの技術などを助言・訓練する人を指すようになったといいます。コーチングは、対話を通じて個人の能力を引き出す人材育成の技法を意味しますが、私は企業研修を専門としていますので、ビジネスコーチングからのアプローチで授業を設計しています。

私の土台はスポーツにあります。ジュニア期からゴルフに打ち込み、大学では体育会ゴルフ部に在籍しました。卒業後は会社員生活を送りましたが、2年で会社を辞めプロを目指して渡米しました。夢は叶いませんでしたが、その後プロ野球の世界でビジネスに関わることになります。健康マネジメント研究科には1期生として入学し、球団職員と大学院生の二足の草鞋を履く、多忙ながらも充実した日々を過ごしました。こうした経験は現在の仕事や授業にも活かされており、基礎を大事にしなが、ロールプレイングや演習を織り交ぜた体感型の授業を行っています。



医療経済評価人材育成プログラム (HTAプログラム)

健康マネジメント研究科/経営管理研究科
教授 後藤 励

保健・医療・介護を含む社会保障支出は、高齢化や技術の高度化などによって増加の一途をたどり、少子化が世界一進む日本では財政面での持続可能性が危ぶまれています。また、昨今のCOVID-19への対応では、個々の医療機関で医療人材や治療に必要な資源を誰にどのように配分したらよいかという難しい問題に日々直面しています。

マクロの保健医療制度、ミクロの現場の両方において、お金、モノ、ヒトといった資源をどのように配分していくかを分析するのが医療経済評価です。2019年度からは、一部の医薬品・医療機器について、医療経済評価の結果を用いて公的価格を調整する費用対効果評価制度が始まりました。

医療経済評価を行い実際の資源配分に役立てるためには、健康改善の評価を行う疫学や統計学などの知識に加え、資源をどの程度費やしたかを測り健康改善に見合うかどうかを考える経済学の知識が必須となります。さらには経済学で比較的論理的に答えを出すことができる効率性以外の要素、たとえば公平性などを評価するための経済学以外の社会科学の知識、これらを総合的に学ぶ必要があります。

HTAプログラムでは、11科目20単位の授業の履修により修了証が取得できるHTAコースを提供しています。国内の著名な医療経済評価研究者にもご協力いただいているこのコースは2020年度に18名、2021年度に22名、2022年度に23名、2023年度には7名の修了者を送り出しました。コース修了後も医療経済評価研究を続けたい方には、修士・博士課程での論文指導に加え、現在政策として行われている医薬品等の費用対効果評価を行う公的分析班での評価の実務への参加機会があります。

健康に関わるあらゆる分野で「もう少しお金やヒトをうまく活用することはできないだろうか?」という疑問をお持ちの方、ぜひ参加をお待ちしています!

■アドミッション・ポリシー

●修士課程

修士課程は、学際的・先進的領域の研究科として教育・研究水準の向上と広がりを目指し、学部の新規卒業者に加えて、実務経験を有し様々な領域で活躍する社会人も対象としています。なお、看護学専攻は、原則として、看護学の基礎教育課程を修了した者を対象とし、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻は、医療系・非医療系の出身学部を問わず多様な専門を持つ者を幅広く受け入れます。

入学者選抜は、入学希望者の本研究科における学習研究への意欲や研究活動の遂行に求められる課題設定能力・論理的思考力・分析力・説明能力等を小論文試験および面接試験を通じて多面的に評価し判定しています。修士課程の入学試験は、国内外の多様な価値観を持つ学生を受け入れるため、Ⅰ期(7月)、Ⅱ期(11月)、Ⅲ期(1月)の年3回実施しています。

●後期博士課程

後期博士課程では、上記の修士号取得の要件を満たし、将来、保健・医療・福祉の領域を先導する研究者および実務者として活躍が期待される能力を備えていることが期待されます。入学試験では、出願時に提出された志望動機・研究計画書・入学志願者に関する所見・評価書及び英語能力試験結果をもとに面接試験を行い、専門領域に関する幅広い基礎知識及び研究遂行能力を審査します。後期博士課程入学試験は、前期(11月)、後期(1月)の年2回実施しています。本研究科の修士課程修了者以外にも積極的に門戸を開いています。また、英語のみで課程を修了し、博士号を取得することもできます。

■修士課程

日程	Ⅰ期	出願期間	2024年6月6日(木)～6月12日(水)
		試験日	2024年7月6日(土)
		合格発表日	2024年7月11日(木)
		入学手続期間	2024年12月2日(月)～12月6日(金)
	Ⅱ期	出願期間	2024年10月10日(木)～10月16日(水)
		試験日	2024年11月9日(土)
		合格発表日	2024年11月21日(木)
		入学手続期間	2024年12月2日(月)～12月6日(金)
	Ⅲ期	出願期間	2024年12月13日(金)～12月17日(火)
		試験日	2025年1月18日(土)
		合格発表日	2025年1月23日(木)
		入学手続期間	2025年2月3日(月)～2月6日(木)
募集人員	看護学専攻10人、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻30人 (注)各期に募集人員枠は設けていませんが、Ⅲ期は若干名となります。		
試験科目	小論文試験、面接試験		
試験会場	湘南藤沢キャンパス看護医療学部校舎		

■後期博士課程

日程	前期	出願期間	2024年10月10日(木)～10月16日(水)
		試験日	2024年11月9日(土)
		合格発表日	2024年11月21日(木)
		入学手続期間	2024年12月2日(月)～12月6日(金)
	後期	出願期間	2024年12月13日(金)～12月17日(火)
		試験日	2025年1月18日(土)
		合格発表日	2025年1月23日(木)
		入学手続期間	2025年2月3日(月)～2月6日(木)
募集人員	看護学専攻5人、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻5人 (注)各期に募集人員枠は設けていません。		
試験科目	面接試験		
試験会場	湘南藤沢キャンパス看護医療学部校舎		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・出願時に英語能力試験結果(TOEFL iBT、IELTS Academic、TOEIC Listening & Reading Testのいずれか一つ)を提出してください。 ・出願前に希望する指導教員に連絡し、研究計画等について説明・相談を行ってください。出願書類には説明・相談を行った日の記載欄があります。 		

Keio University



慶應義塾大学
大学院健康マネジメント研究科ウェブサイト
<https://gshm.sfc.keio.ac.jp>